

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	57	健康行動実践モデル実証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
担当部課名	保健医療部 健康長寿課		事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4	
事業内容	早世予防と平均寿命(健康寿命)の延伸を図ることを目的として、生活習慣病のリスクの高い青壮年期の健康意識の向上、行動変容(食事、運動、消費)に誘導する新たな方法の開発・実証等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	71,000	-	71,000	0	60,000
		(b) 予算現額	71,000	-	71,000	0	60,000
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	71,000	-	71,000	0	60,000
	執行額	B. 執行済額	71,000	-	71,000	0	60,000
		うち交付金充当額	56,800	-	56,800	0	48,000
		C. 次年度繰越額	0	-	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	-	100.0%	-	100.0%
	予算の状況の説明	予算現額について予定通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	事業期間(終期:H28)を通して、住民、関係者等の協力(データ提供等)を確保するため、関係者に対するセミナーの開催や健康づくりに関する有益な情報の提供を行う。	目標	-	-	-	100	
		実績	-	-	-	87	
	【参考指標】 対象者の選定・ベースライン調査、追跡調査によるデータの蓄積 10,000人	目標	-	10,000	10,000	10,000	
		実績	-	5,592	15,440	13,040	
達成状況説明	健康づくり講演会等の開催については、当初目標には届かなかったが目標の8割に相当する84回を開催し概ね達成した。目標に届かなかった理由は、地域・学校現場の行事との重複や天候不良(台風等)により講演会等の延期が生じ、日程の再調整ができなかったことによるものである。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	後期の食育等の介入事業を実施し、対象者に対する追跡調査を行い、研究に必要なデータの蓄積を図る。	目標	-	-	-	70.0%	70.0%
		実績	-	-	-	86.9%	-
	・調査対象者の追跡調査実施率(約7割) 調査対象者 約15,000人 目標 約10,000人(約70%) 実績 13,040人(86.9%)	目標	-	-	-	公表	-
		実績	-	-	-	公表	-
・ベースライン調査結果の公表	目標	-	-	-	公表	-	
	実績	-	-	-	公表	-	

【参考指標】 実証事業の体制確立	目標	-	-	体制確立	-	-
	実績	-	-	体制確立	-	-
進捗状況説明	<p>成果目標である追跡調査実施率については、当初目標とした割合を達成しており(86.9%、13,040名)、最終的な評価に向けたデータ蓄積が進んでいることから、目標を達成している。</p> <p>ベースライン調査については、地域や学校における報告会や学会で公表しており、目標を達成している。</p> <p>※事業の進捗状況等については、琉球大学ホームページにおいて公表 http://www.yuima-ru.med.u-ryukyu.ac.jp/</p>					

H27-No.57

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間にわたる調査に継続的に協力してもらうため、H26年度に引き続き、事業目的等の理解を深めるセミナーをモデル市町村の関係者に実施した。 ・活動実績は、健康づくり講演会については、当初の目標回数には届かなかったものの、目標値の8割を達成したことから「概ね達成」と評価する。 ・成果実績は、追跡調査実施率及びベースライン調査の公表について「達成」と評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、複数年度にわたる事業への理解を深め、事業の適切な実施を確保するため、モデル市町村の関係者に対する普及啓発等の取組が必要である。 ・また、事業に参加することで得られる健康づくり情報などのメリットについても宣伝して行く必要がある。

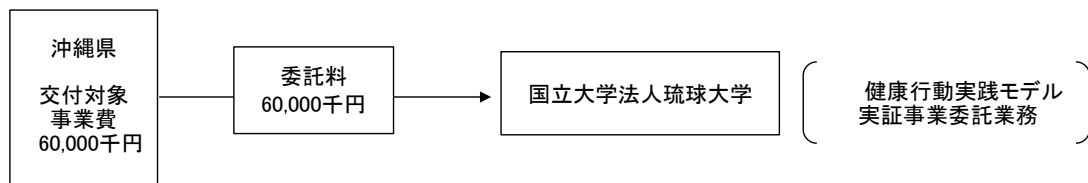
今後の取り組み方針

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、複数年度にわたる事業への理解を深め、事業の適切な実施を確保するため、モデル市町村の関係者によるセミナーを開催する。また、事業に参加することで得られる健康づくり情報などのメリットについても宣伝し、継続的な協力を得る。 ・事業の最終的な分析評価(科学的根拠に基づく知見の収集、行動変容に誘導する新たな手法確立)に向けたデータ蓄積及び分析評価を行う。 ・平成28年度は、青壮年期の健康意識の向上、行動変容に誘導するためのプログラムパッケージを作成する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
60,000	60,000	48,000	12,000	0	0	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本事業は、生体試料の追跡を目的としたコホート研究であるため、県内で唯一医学部を有し、研究ノウハウを有する琉球大学を委託先として選定しており、妥当と考える。</p> <p>○予算規模は本研究の事業量に見合った人件費、事務費であり、妥当と考える。</p> <p>○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について検査し、適正な執行と認められた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	58	長寿復活健康づくり事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-ア		
			沖縄振興基本方針該当箇所		沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進		
担当部課名	保健医療部 健康長寿課		事業実施(予定)年度	平成 25 ~ 27 年度		Ⅲ-4	
事業内容	沖縄県の長寿復活に向けて、市町村や地域を巻き込んだ県民全体での健康づくりに取り組むため、普及啓発、次世代への健康教育、市町村の行う健康づくりモデル事業への助成など総合的な健康づくりを推進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	166,994	-	100,612
		(b) 予算現額	79,231	-	166,994	-	100,612
		(c) 増減額(b-a)	79,231	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	79,231	-	166,994	-	100,612
	B. 執行済額		37,847	-	158,469	-	94,891
	うち交付金充当額		30,277	-	126,775	-	75,912
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0
	執行率(%) (B/A)		47.8%	-	94.9%	-	94.3%
予算の状況の説明		・予算額は、委託料(県民の健康づくり広報事業委託業務)と補助金(市町村が行う健康づくりモデル事業への補助)を主な経費として計上しており、平成26年度と比べ予算現額が66,382千円減額となっているのは、次世代の健康教育事業に係る業務委託(小中学生等に対する食育や生活習慣に関する副読本の作成・提供)が終了したことによるものである。 ・執行率は94.3%であり、主な理由は、5市町村が行う健康づくりモデル事業への補助金につき、実績額が交付決定額を下回ったことにより、不用額(5,482千円)が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	テレビ・ラジオCMによる広報実施	目標	-	-	広報実施	広報実施	
		実績	-	-	広報実施	広報実施	
	健康づくりモデル事業の実施(5市町村)	目標	-	-	5市町村	5市町村	
		実績	-	-	5市町村	5市町村	
	【平成26年度】副読本の印刷・配布(3分野)	目標	-	-	印刷・配布	-	
		実績	-	-	印刷・配布	-	
達成状況説明	・県民の健康づくり広報事業については、テレビ、ラジオ、新聞等の各種メディアを活用し、県民を対象に広報を実施した。 ・市町村が行う健康づくりモデル事業については、沖縄県全市町村に募集を行い、応募のあった市町村の事業を選定し、目標としていた5市町村を採択、事業を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(26年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(〇年度)
	健康おきなわ21の認知度 目標値 75%	目標	50%	-	50%	75%	-
		実績	-	-	73%	82%	-
	モデル事業の構築を図るとともに、県内市町村と情報共有を図る。	目標	-	-	-	5市町村	-
		実績	-	-	-	5市町村	-
	【平成26年度】健康づくりモデル事業の事業実施体制の確立	目標	事業実施体制の確立	-	-	事業実施体制の確立	-
		実績	-	-	-	事業実施体制の確立	-
	【平成26年度】小中学校での健康教育体制の充実	目標	健康教育体制の充実	-	教育体制の充実	-	-
実績		-	-	教育体制の充実	-	-	
進捗状況説明	・成果目標である健康おきなわ21の認知度については、実績が82%(平成28年3月)となっており達成している。 ・成果目標である市町村が行う健康づくりモデル事業の事業実施体制の確立については、各地域の特性や課題を踏まえた事業が実施され、他地域へ普及可能なモデル事業となり得る事例がでてきており、目標を達成している。						

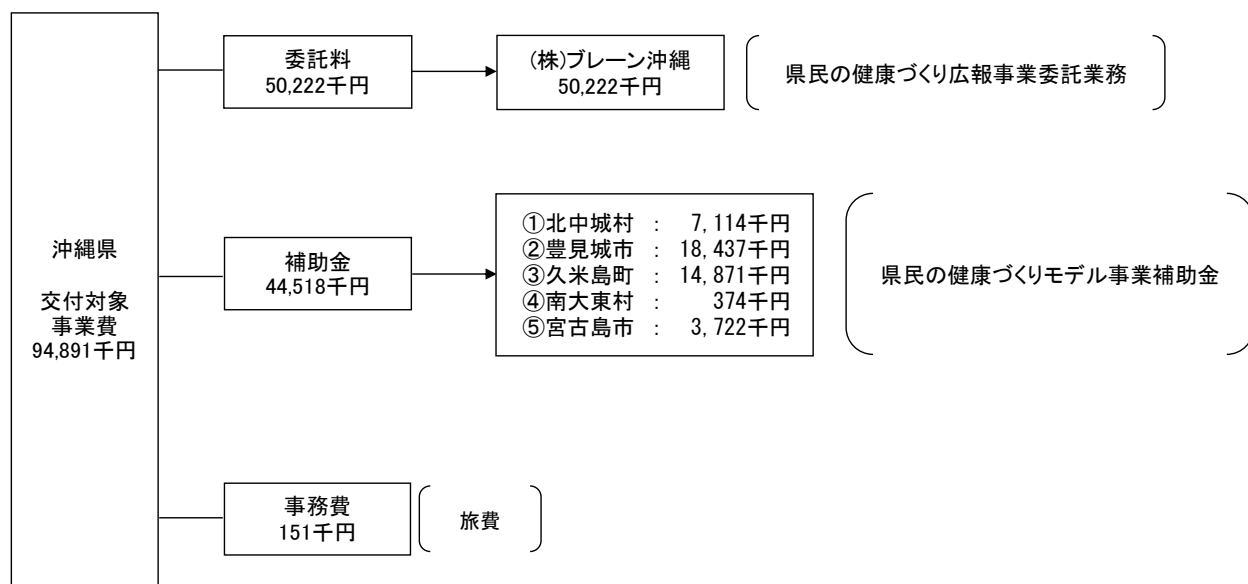
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の事後評価を踏まえ、働き盛りの世代の参加が見込まれるイベント等と連携した広報を実施し、健康おきなわ21の認知度は高まっている。今後はどのように健康行動の実践に結びつけていくか、さらに広報内容の工夫が必要である。 市町村が行う健康づくりモデル事業の活動及び成果実績については、目標としていた5市町村を採択し、各地域の特性や課題を踏まえた事業を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報については、働き盛りの世代の接触が高い媒体やイベント等を検討するとともに、健康行動の実践につなげるための広報内容を検討する。 副読本の活用を促進するため、学校現場にどのように働きかけていくか検討する必要がある。 市町村が行う健康づくりモデル事業については、実施市町村の独自性や自主性をいかにしながら、他市町村へ普及可能なモデル事業となるよう推進する。

今後の取り組み方針

- ・広報については、働き盛りの世代の接触が高い媒体やイベント等において、健康行動の実践につなげるための広報を検討し、実施する。
- ・副読本の活用を促進するため、教育庁と連携し、教員向けの研修会の充実を図るとともに、活用状況を把握し、今後の活用促進の方策を検討する。
- ・市町村が行う健康づくりモデル事業については、他市町村へ普及可能なモデル事業の実施体制確立のため、実施市町村と意見調整を行いながら、効果の検証や普及の可能性について実証していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
94,891	94,891	75,912	18,979	0	0	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・広報事業の委託事業者はH25年度に公募型プロポーザル方式により選定した業者であり、H25年度に制作したテレビCM等を継続して活用し、統一性のある広報を実施するため同業者と契約した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・市町村のモデル事業に対する補助金については、選定要領に基づく選定委員会により選定、採択したため妥当と考えている。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	221 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-イ		
	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成 27 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)
担当部課名	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成 27 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)
事業内容	サッカーキャンプ等の誘致を戦略的に推進するため、キャンプ誘致活動とともに、県内グラウンドの芝生環境の向上を図るため芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材を養成する取組を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事務費）						
予算額・執行額【単位:千円】			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	0	-	62,223
		(b) 予算現額	0	-	0	-	62,223
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	0	-	0	-	62,223
	B. 執行済額		0	-	0	-	61,454
	うち交付金充当額		0	-	0	-	49,163
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	-	-	98.8%
予算の状況の説明		執行率は98.8%であり、ほぼ予定通り執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	専門的芝生管理技術を有する人材の育成	目標	-	-	研修生5名	研修生5名	
		実績	研修生 5名	研修生5名	研修生10名	研修生10名	
	グラウンド管理モデルの導入	目標	-	-	2箇所	2箇所	
		実績	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	
	サッカーキャンプ実施件数	目標	-	-	-	17件	
		実績	-	-	-	21件	
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成研修:座学講習、実地研修(管理業務)、県外実地研修、芝管理技術者資格の取得等を実施し、5名の人材育成を行った。 グラウンド管理モデル事業:市町村管理のグラウンドを実地研修の場として提供してもらい、市町村と連携して、集中管理を行った。(2箇所) グラウンド巡回支援事業:県内グラウンドの巡回を通じて、芝生の状態や管理作業等の対応などについて情報交換を行う。 県内グラウンドの芝生環境の向上を図るとともにサッカーキャンプ誘致活動を行うことで、過去最高の21件の誘致を実現した。 上記の活動を実施し、活動目標を達成できた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度
サッカーキャンプ誘致件数		目標	-	-	-	17件	
		実績	-	-	-	21件	
芝人養成事業研修生数		目標	-	5名	5名	5名	
		実績	0名	5名	10名	10名	
グラウンド芝生環境の向上		目標	-	-	-	2箇所	
		実績	-	2箇所	2箇所	2箇所	
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から新たにⅢ期生5名が、芝生管理の知識と技術を習得している。 修了した人材については、習得技術を活かした職場へ就職した。 県内グラウンド芝生環境の向上を図るとともにサッカーキャンプ誘致活動を行うことで、過去最高となる21件の誘致を実現した。 					

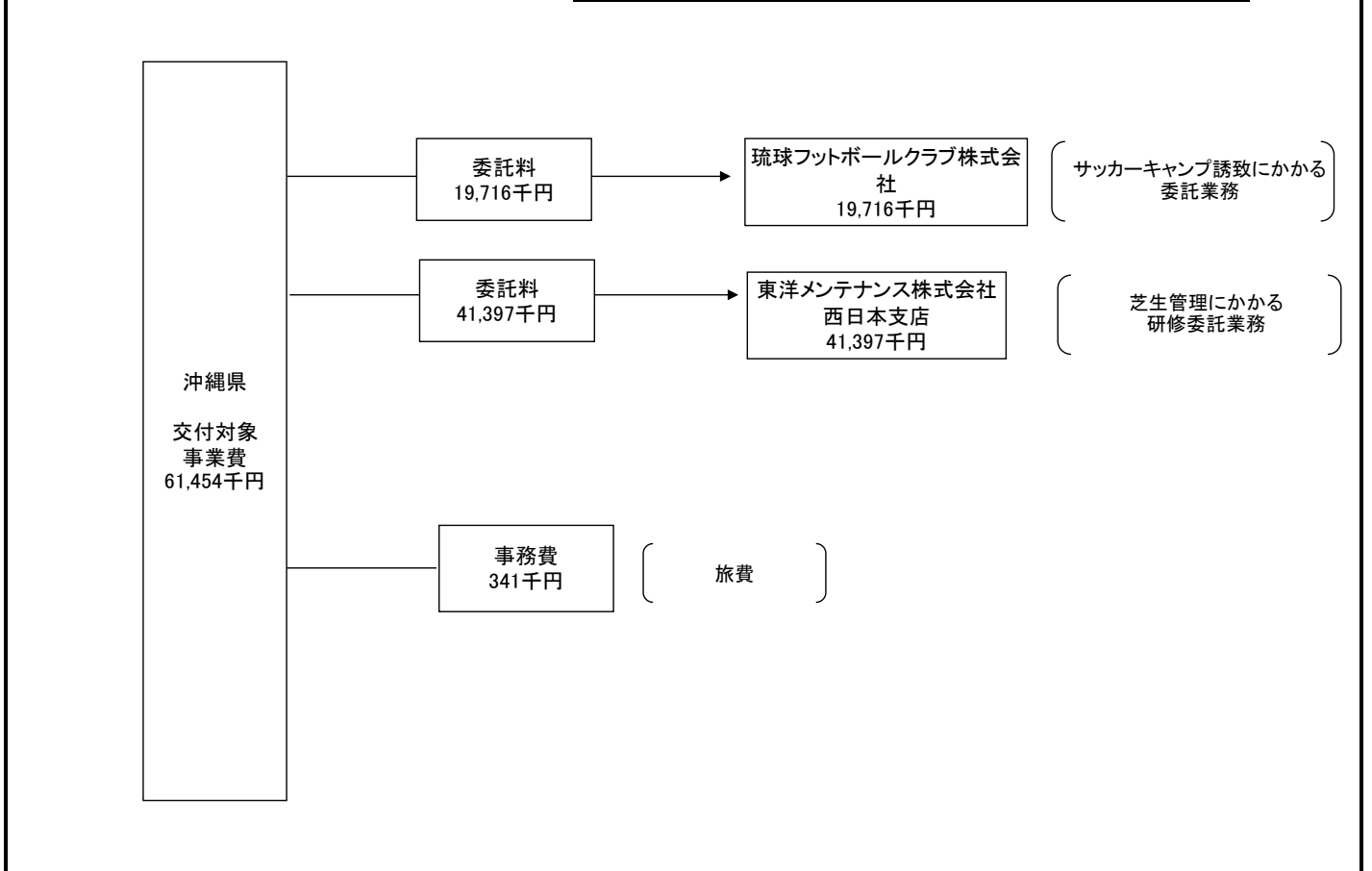
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材養成と、サッカーキャンプ誘致事業の連携した取組 ・市町村施設管理者及び県内関連事業者等とのサッカーキャンプ誘致に向けた情報交換 ・実地研修場所を提供する施設の芝生養成期間の利用制限 ・本事業終了後の芝生管理の維持・継続に向けた市町村予算の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブチーム等へ県内芝生環境の積極的なPR活動を行う。 ・サッカーキャンプによる地域活性化と経済波及効果に対する市町村や地域住民の理解度向上が必要である。

今後の取り組み方針

・平成26年度までの事業予定であったが、サッカーキャンプが好調ななか芝の専門的知識・技術を有する人材の育成が引き続き必要とされたため、平成27年度から平成28年度までの2年間でⅢ期生5名の人材を育成する。
 ・サッカーキャンプ誘致との連携を図り、Jリーグクラブ、なでしこリーグクラブ及び大学等へ県内芝生環境の向上を積極的にPRし、キャンプ誘致を推進する。
 ・キャンプ誘致事業者、サッカー関連団体、市町村との連絡会を定期的に開催し、サッカーキャンプによる地域活性化や経済波及効果に対する市町村や住民への理解を深める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
61,454	61,454	49,163	12,291	0	0	0



資金の流れ、費目・点検	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○サッカーキャンプ誘致委託事業は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○芝生管理にかかる研修委託事業者は平成24年度において企画提案方式により選定されており、翌年以降は複数年度をかけて人材育成を実施するため、継続性の観点から随意契約となっており、妥当であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	222	地域健康力アップ推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生涯スポーツの推進 Ⅲ-4	
事業内容	県民の健康増進と体力の向上を図るために、総合型地域スポーツクラブを活用し、継続的な体力測定の実施とスポーツ指導、交流イベント等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	-	-	25,538	-	26,731
		(b) 予算現額	-	-	25,538	-	26,731
		(c) 増減額(b-a)	-	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	-	-	25,538	-	26,731
	B. 執行済額		-	-	25,235	-	26,505
	うち交付金充当額		-	-	20,188	-	21,204
	C. 次年度繰越額		-	-	0	-	0
	執行率(%) (B/A)		-	-	98.8%	-	99.2%
予算の状況の説明		執行率は99.2%であり、不用額(226千円)は事務費(報償費、旅費)の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	測定教室の実施	目標	-	-	21回	21回	
		実績	-	-	21回	42回	
	総合型クラブ交流会参加者数	目標	-	-	1000名	1200名	
		実績	-	-	1266名	696名	
達成状況説明	測定教室については、定期的な測定により運動効果を実現することができたが、総合型クラブ交流会参加者数は、雨天による屋外イベントの中止や広報PR不足等により目標値を達成することが出来なかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	総合型スポーツクラブにおける体力測定者数	目標	-	-	600名	600名	1200名
		実績	-	-	225名	617名	-
	総合型地域スポーツクラブ交流会参加者数	目標	-	-	1000名	1200名	1200名
		実績	-	-	1266名	696名	-
	進捗状況説明	・体力測定者数は最終年度の平成28年度には1200人を目標としている。 ・体力測定者数は目標値から下回っている。クラブ会員が日頃から気軽に測定し、測定することによって効果の確認ができることの周知が不足している。					

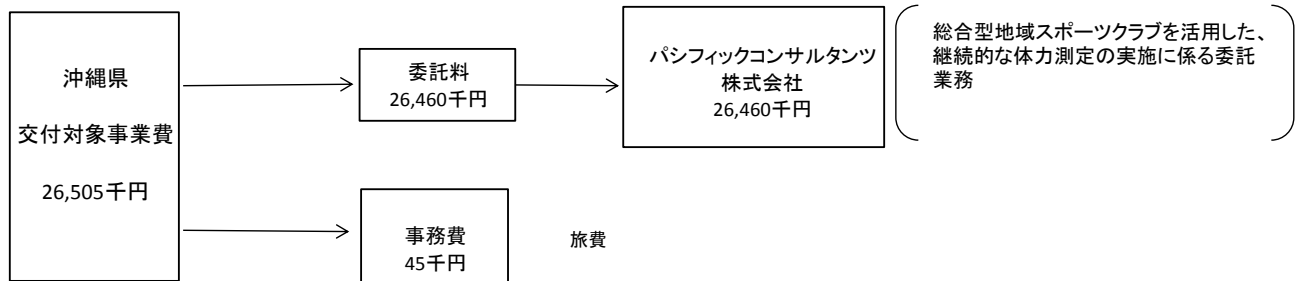
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの認知度が低く、総合型地域スポーツクラブを知っていても参加する人は更に少ない。 全国交流イベントでは目標値に対して実績値が低く、悪天候によるイベントの中止や事前周知不足、また、イベント企画の偏りによるものである。 県内総合型地域スポーツクラブ間の連携不足 限れたスポーツクラブが応募する傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者やクラブ間の情報交換による運動教室の底上げが必要である。 情報発信の媒体についても検討し総合型地域スポーツクラブの周知と理解を図る必要がある。 地域を活かしたイベントの立案や、悪天候等に対する代替案を検討するなど運営力を強化する必要がある。 応募クラブだけでなく、他の県内クラブへの働きかけが必要である。 地域住民が参加しやすいスケジュール調整も必要である。

今後の取り組み方針

平成28年度は総合型地域スポーツクラブに対し、当事業を周知させ、企画立案の機会や研修の場を設ける。また、細やかなアドバイスの提供を整え、総合型地域スポーツクラブの自走化を目指し、効果的な広報宣伝等を行い、クラブの認知度に取り組む。
 平成28年度事業では、成人の週1回以上のスポーツ実施率の目標値を45%に設定しており、平成28年度に予定されている意識調査で、成人の週1回以上のスポーツ実施率が確認できる。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
26,505	26,505	21,204	5,301	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募を行い、選定委員会を開催し、実績、知識、企画提案内容等を勘案した上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	227	がんじゅーどー事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	土木建築部 道路管理課		事業実施 (予定)年度	平成 26 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-11-(2)	
事業内容	ウォーキング・ジョギング・サイクリング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進するため、道路空間の整備を行う						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	-	-	38,000	-	142,500
		(b) 予算現額	-	-	18,700	-	142,500
		(c) 増減額 (b-a)	-	-	▲ 19,300	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	-	-	18,700	-	142,500
	B. 執行済額		-	-	18,549	-	142,174
	うち交付金充当額		-	-	14,839	-	113,739
	C. 次年度繰越額		-	-	0	-	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	99.2%	-	99.8%
予算の状況の説明		・予算額は、実施設計を終えた5路線の工事請負費を計上。 ・執行率は99.8%であり、不用額(327千円)は工事における入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
	モデル路線の整備 (5路線)		24年度	25年度	26年度	27年度	
		目標	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル路線の整備 (5路線)	
		実績	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル路線の整備 (5路線)	
		目標					
	実績						
達成状況説明	・モデル5路線をウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を整備する事ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (26年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (33年度)
	モデル路線の整備 (1.5km×5路線) ↓ 整備延長L=7.5km	目標	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル5路線の整備	-
		実績	-	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル5路線の整備	-
	(参考) モデル5路線におけるジョギング・ウォーキング等利用者数(18時間調査合計値)	目標					現状値より増
		実績	524人		524人		
	進捗状況説明	・計画通りモデル5路線にて4.0kmの整備を行い目標の5割以上を達成している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事着手の初年度であったため、目標通りの延長を整備する事が出来なかった。 ・平成28年度以降の課題として、追加の整備路線を選定・整備するにあたり、事業効果を高めるため、必要に応じて市町村道等と連携した整備が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度実施した要領に基づき、より多くの整備に向けて努める。 ・他道路管理者と調整の場を設け、整備計画や既存の効果検証結果を共有し、市町村道等での事業化を働きかける。

今後の取り組み方針

・平成28年度からは整備と合わせて効果検証を実施し、検証結果を踏まえて追加整備路線を検討する。追加整備路線の選定にあたっては、市町村道等も含めたネットワークの構築を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
142,174	142,174	113,739	28,435	0	0	0



資金の流れの点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	